

【震災に備える自己点検表】

/10点

□ 大規模地震を想定した訓練は行っていますか？

⇒連絡や指示が行き届かないことがあります。指示系統を確認しておきましょう。

⇒毎年新入職員が入ってきます。徹底させるためにも年1回は行うことをお勧めします。

⇒検査中での震災をシミュレーションしてみましょう。

□ 近隣および地域との連携は考えていますか？

⇒系列病院ではスタッフの配分が可能です。

⇒災害拠点病院との病院間を超えた支援体制なども考えておきましょう。

□ 自施設の災害マニュアルの内容を把握していますか？

⇒スタッフ全員にマニュアルの存在および内容の確認を徹底させましょう。

⇒必要に応じて追記、訂正することも大切です。

□ 停電を想定していますか？

⇒自家発電は100V対応です。使用可能な機器を把握しておきましょう。

⇒1回、手動でガントリーやベッドを動かして見ることをお勧めします。

⇒懐中電灯を備えておくことをお勧めします。

□ 患者さんの避難経路は確認していますか？

⇒エレベータが停止することもあります。ストレッチャーでの患者さんのことも想定し、確認しておきましょう。

□ 震災に強い、施設、システムは何か考えていますか？

⇒物品の配置を見直しましょう。

キャスターのついた台のものは転倒および落下しにくかったのが有効に使うことをお勧めいたします。

⇒データは頻りにバックアップをしましょう。

⇒自現機はドライシステムがお勧めです。

□ 緊急連絡網はどうなっていますか？

⇒電話連絡は使えなくなる可能性が高いです。メールも期待しないほうがよいと思います。

自主的に登院する何らかのルール付けをおこなしましょう。

□ 業務復旧に関するマニュアルはありますか？

⇒装置の点検手順を確認しておきましょう。

⇒装置の転倒、故障時の対応(災害時の保証も含めて)を確認しておきましょう。

⇒震災後は大型機器などのねじの緩みを確認しましょう。

□ RI室内の汚染を想定していますか？

⇒法律で定められた対処法を確認しておきましょう。

⇒ちょっとした合間にもRI製剤を不安定な状態で保管しないようにしましょう。

⇒サーベーターを管理区域入り口付近に保管することをお勧めします。

□ コリメータ台車はどのようなになっていますか？

⇒台車には必ずブレーキをかけましょう。

⇒コリメータを付けたままで放置しないことをお勧めします。

⇒検査中には台車の向きに気をつけ、ベッドの近くに置かないようにしましょう。

※これで十分という訳ではありませんが、皆様の施設の災害対策に役立てて見てください。